

大学で学んだことをどう仕事に役立てている？

東京福祉大学で学んだ留学生たちの今

東京福祉大学では、勉学のために世界中から来日した多くの留学生も学んでいます。

卒業後も、大学で学んだことを生かして働いたり、学び続けたりしている4人に、現在についてインタビューしました！

将来はブルガリアと日本の懸け橋として、 琴欧州並みに貢献したい！



アンゲロフ・アントニオさん
教育学部教育学科
2017年3月卒業
(ブルガリア出身)

Q 東京福祉大学の第一印象と、学んだ感想を教えてください。

A 4つもキャンパスがあって全世界から来る学生を歓迎する環境が整っている立派な大学だと感じました。入学後、初めて日本人と一緒に授業を受けたとき、異なる考え方や価値観に触れることができず勉強になりました。また、多くの授業で理論だけでなく、知識を実際にどう応用するかが重視されるので、実践的な学びが多かったのも印象的です。

Q 東京福祉大学で学んだことが、現在の仕事でどのように役立っていますか？

A 自己PR能力や表現能力が一番役に立っています。アクティブ・ラーニングの授業を通して、自分の考えを人前で発表する練習を何度もしてきたので、表現力が身につきました。そのおかげで現在は世界中にたくさんのクライアントを持ち、さまざまな分野で仕事を依頼されています。

Q 現在の仕事のやりがいと将来の夢について教えてください！

A 自分で自分の道を切り開くと決心してから努力を重ね、今はほとんど休みがないほど忙しく過ごしています。私にしかできない能力を最大限に発揮できる環境を作ることができました。日本にはもう7年も住んでいますが、今でも毎日が刺激に満ち、多様性のある日々を送っています。将来は、ブルガリアと日本の懸け橋として、母国が同じ琴欧州関（現・鳴戸親方）並みに貢献したいです！

【現在の就職先】

自営業（モデル・俳優・タレント・通訳・翻訳・英語講師・異文化理解講師・料理講師・国際イベント企画・外国人派遣）

【在学時に取得した資格】

中学校・高等学校教諭一任免許状（英語）
TOEIC（950点）



優しくも時に厳しい先生によって 学ぶ意欲をかき立てられました



ニウ・サンデーさん
社会福祉学部社会福祉学科
社会福祉専攻介護福祉コース
2019年3月卒業
(カンボジア出身)

Q 東京福祉大学の第一印象と、学んだ感想を教えてください。

A 伊勢崎キャンパスは自然が豊かで広々としていて、落ち着いて学ぶことができました。私のクラスはほぼ日本人学生でしたが、先生方はいつも私のためにわかりやすい資料を用意してくださいました。時には厳しいときもありましたが、それがむしろ学ぶ意欲をかき立て、助けとなってくれました。日本人のみならずと交流する機会がたくさんあり、多くの友人たちもサポートしてくれました。

Q 東京福祉大学で学んだことが、現在の仕事でどのように役立っていますか？

A 現在は社会福祉士として、登録支援機関でカンボジア人の特定技能をサポートする仕事をしています。大学で受けた相談援助の授業がとて役に立っています。また、介護の知識も身についたので、介護施設で働いたり、今後働きたいと考えているカンボジア人に有効なアドバイスができています。

Q 日本で社会福祉士・介護福祉士の国家資格を取得し、働こうと思ったのはなぜですか？

A カンボジアでは福祉に関しては限られた職種しかありませんが、日本は福祉が充実しており、多くの職種があります。大学での学びに加え、大学時代に介護のアルバイトも経験したことから、日本で介護福祉士と社会福祉士の国家資格を取得し、困っている方々を支援したいと思うようになりました。

Q 今の仕事のやりがいと将来の夢を教えてください！

A 現在、日本で暮らすカンボジア人と関わり、困っている人々を手伝っていることは大きな喜びで、やりがいのある仕事だと感じています。今後は日本だけでなく、母国で仕事に困っている人や教育を受けられない人々に対して、私がつく知識や技術などを共有していきたいです。

【現在の就職先】

株式会社KMT（登録支援機関）

【在学時に取得した資格】

社会福祉士国家資格、介護福祉士国家資格、児童指導員・身体障害者福祉司、知的障害者福祉司・社会福祉主事各任用資格、レクリエーション・インストラクター



何事も努力せずに成功することは 難しいですよ！



Q 東京福祉大学で学んだ感想を教えてください。

A 目標に向けて勉強ができる環境が整っている大学です。先生方は優しく、学びたい意欲のある学生をサポートしてくださいませ。授業以外でも研究室で質問できる時間が設けられているので、わからないことがあれば徹底的に質問して、自分なりのテンポで学ぶことができました。

Q 日本で私立学校の教員採用試験にチャレンジした理由はなぜですか？

A 子どものころからの夢である教員になること、高校時代から夢見てきた日本で働くことの両方がかなえられるからです。また、日本独特の教育法にも興味を抱きました。ブルガリアでは学校は知識を得る場で、生活面やメンタル面の指導はありません。でも、日本では学校が自分の家であるかのように手厚く指導していることを知り、私自身もそれを経験したいと思って採用試験にチャレンジしました。最初は合格できるか不安でしたが、教職課程支援室の先生方のおかげで、希望を持って前へ進むことができました。

Q 現在の仕事内容について教えてください。

A 聖徳学園小学校で1年生の担任と、1年生の算数、3～4年生の英語を担当しています。少人数の学校なので個人指導も行います。毎日授業をしたり、問題を考えて作ったり、休み時間には児童と話したりと、みんなが楽しくて充実した学校生活を送れるように努めています。



Q これから教育学部に入學し、教員をめざす学生へメッセージをお願いします！

A まず「自分でもできる！」と信じるころからスタートしてください。私も最初は受験なんてできない、実習なんて行けないと考えていましたが、先生方のサポートで頑張ることができました。先生方は教えるためにいてくださるので、どんどん頼ってください！わからないことがあったら徹底的に質問し、1回でわからなくても諦めないこと。何事も努力せずに成功することは難しいですよ。

ルセア・カテリナさん
教育学部教育学科
2020年3月卒業
(ブルガリア出身)



【現在の就職先】

私立聖徳学園小学校

【在学時に取得した資格】

小学校教諭一種免許状、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)

進む道に悩んでも、 答えは必ず現れると信じてトライして



ポピオエク・ザハリアンさん
大学院 社会福祉学研究所
博士課程前期
2018年3月修了
(ポーランド出身)

【進学先】

慶応義塾大学大学院博士課程

【在学時に取得した資格】

日本語能力試験1級



Q 東京福祉大学で学んだ感想を教えてください。

A 私は母国の大学・大学院で、国際関係研究科を修了しましたが、日本語を上達させたいと考えて留学しました。しかし、在学中に世界中で懸念されている少子高齢化の課題をより深く勉強したいと考え、東京福祉大学大学院に進学しました。社会福祉学研究科には政治的なアプローチをする専門の講座はありませんでしたが、個性的な先生方が特別な指導やサポートをくださったのおかげで、研究を行うことができました。知識を身につけただけでなく東京福祉大学は心を豊かにしてくれた場所だと感じています。

Q 東京福祉大学で学んだことが、どのように役立っていますか？

A 在学中は、私の専門分野だった国際関係や政治とはかなり異なる観点から現代日本社会が抱えるさまざまな問題について学ぶことができ、とても濃く有意義な時間を過ごせました。また、在学中にスポーツデイをはじめ、さまざまなイベントに参加できたのも楽しい思い出です。



Q 大学受験を控えた受験生にメッセージをお願いします！

A 自分の進む道は、自分で決めなければなりません。でも「私は一体どこへ向かっているんだろう」と悩む人は少なくありません。答えを見つけるのは簡単ではないので、いつか答えは必ず現れると信じて、いろいろなことを試してみてください。入学前にオープンキャンパスの体験授業に参加したり、先生や先輩方の話を聞くといいですよ！そもそも、東京福祉大学があなたの成長を促す場だと感じたら、ぜひ東京福祉大学の一員となって毎日自分を磨いて、夢に一歩ずつ近づいてください。